

「町史」編さん事業概要

本町の「町史」は、町制施行20周年記念事業の一環として昭和49年に刊行され、平成26年10月で40年が経過しました。この間、町を取り巻く環境は大きく変化し、新たな歴史資料等（縄生廃寺・古萬古の窯跡等）の発見もありました。また、土地区画整理組合による丘陵地の住宅開発により、平成25年4月には、町の人口が1万人を超えました。

一方、既存の朝日町史は、歴史研究等の学術的進展の成果が反映されておらず、また町史を編さんするための基礎資料は、歴史資料の散逸や昔からの民俗・習慣などを伝える住民の高齢化によって、情報の収集が困難な状況になってきています。

このため、後世に伝える記録整備を早急に進める必要があることから、第5次朝日町総合計画基本計画に基づき、町制60年を迎える平成26年度から本格的な事業着手に備えるよう、平成25年度に準備委員会を立ち上げ、新たな「町史」編さん事業に取り組むことといたしました。

令和2年度には事業の見直しを行い、令和3年度より委託事業として町史の編さんを行っています。本事業では、新しく朝日町に居住することになった住民にとっては地元の歴史を学び、旧来の住民にとっては郷土の歴史を再認識する機会と捉え、町の歴史・文化の形成過程を明らかにし、地域の歴史に関する正しい理解を深め、広く町外にも発信してまいります。

【事業計画期間】平成26年度～令和6年度（10ヵ年）

【刊行予定巻数】全5巻（内訳：資料編3巻、通史編1巻、別編1巻）

【刊行予定年度】

令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度
考古・文化財・民俗 (刊行済)	文献史料 (刊行済)	橘守部編 (刊行済)	通史編・別編

【各編の内容】

<資料編1 考古・文化財・民俗> 1巻

（考古）町内で発見された遺跡、遺構、遺物などを調査し、生活の様子や変化、文化の状態をまとめます。

（文化財）登録有形・無形文化財をはじめ、古い建造物、絵画、工芸品、美術品などを調査し、図版、写真なども採録します。

（民俗）町内に伝え行われている、習わし、しきたりなど、高齢者の方々の体験談や言い伝えられた事などを聞き取り、町の様子をまとめます。

<資料編2 文献史料> 1巻

古代から現代までの文字で書かれ伝達された史資料（文書、古文書、日記、古記録、書籍、新聞、雑誌など）を調査し1冊にまとめます。

<資料編3 橘守部> 1巻

当町出身で江戸時代後期の国学者橘守部は「天保の国学四大家」にあげられ全国に発信できる歴史的要素が十分あるため、現時点での学術研究成果を反映し、付加価値の高い1冊にまとめます。

<通史編> 1巻

町の歴史全体を記述するもので、主として各資料編の調査結果に基づき、必要に応じて近隣自治体の状況や関連研究分野も視野に入れて内容の充実を図ります。

また、東芝誘致を踏まえた近代産業史分野、これまでの調査、研究を活用した自然分野なども盛り込み、住民等の一般読者を対象とした平易な記述、読みやすさを考慮して1冊にまとめます。

<別編> 1巻

資料編及び通史編の成果を編集し直して、小中学生の歴史学習で活用でき、住民が親しみやすく、手に取りやすい内容を1冊にまとめます。

問い合わせ先：庶務・町史編さん課

TEL 377-5195 FAX 377-5196